(別紙)

成果の説明書

(氏名) 森 周子	(学部) 地域政策学部

1　重要事項

研究上の成果

・『健保連海外医療保障』、『週刊社会保障』、『社会政策』に論文を寄稿した。
・『大原社会問題研究所雑誌』と『社会政策』に書評を寄稿した。
・社会政策学会第 133 回大会（同志社大学）書評分科会にて、岩佐卓也『現代ドイツの労働協約』の書評報告を行った。
・高崎経済大学地域科学研究所講演会（2016 年 11 月 10 日・高崎経済大学 621 教室）にて「社会保障の国際比較：日本とドイツ」というタイトルで講演を行った。
・昨年度に引き続き、田多英範氏（流通経済大学名誉教授）主宰の「世界の社会保障研究会」に参加し、ドイツ社会保障の展開に関する報告を行った。また、同研究会が企画する『厚生（労働）白書を読む』プロジェクトに参画し、日本における社会手当の展開に関する報告を行った。

教育上の成果

・2 年ゼミを自主的に開催し、社会政策・社会保障に関する基本文献を輪読した。
・3 年ゼミ生が日本学生経済ゼミナール関東大会（インナー大会）のプレゼン部門に出場し、予選 2 位となった。さらに、地域政策学部主催の三扇祭プレゼン大会にも出場し、準優勝した。
・横浜家庭裁判所調査官・石川隆一氏に、5 月 19 日にゲスト講義を行っていただいた。
・母校である普連土学園中学校・高等学校（東京都港区）創立記念礼拝（普連土学園新渡戸稲造ホール）にて、「普連土学園とわたし」というテーマで講演を行った。
・佐藤公俊ゼミナール有志と静岡大学経済学部李蓮花ゼミナールとで合同ゼミを開催し、社会保障に関するプレゼンテーション大会を行った（2016 年 11 月 12 日・晴海グランドホテル）。
・ISFJ（日本政策学生会議）の論文一次審査査読委員を担当した。
・群馬県庁人権・男女共同参画課が企画する「ぐんま学生会議」の企画協力として、3 年ゼミ生 2 名と 9 月 16 日に富士スバル株式会社（前橋市）にてインタビューを実施した。また、3 年ゼミ生 5 名が、11 月 11 日の「ぐんま女性活躍推進フォーラム」内にて成果発表を行った。
・3 年ゼミ生有志と、2017 年 2 月 17 日に「みどの福祉会」（高崎市新町）が開催する子ども食堂の見学会を行った。

2　その他の事項

・鴻巣市のまちづくり公社「街活性室」が主宰した「JAZZ LIVE &BAR NIGHT」（2016 年 5 月 14 日・SPOB）に、ドリンク提供のボランティアとして参加した。
・水戸市役所職員の須藤文彦氏を招聘し、10 月に地域科学研究所講演会にて講演していただいた。

3　次年度以降の計画・抱負

研究面

・前年度に引き続き、「世界の社会保障研究会」に参加し、同研究会が主宰する『厚生（労働）白書を読む』プロジェクトの成果として年度内に共著を出版する予定である。そこでは、社会保険と公的扶助の中間に位置する制度であり、近年において社会保障制度の重要な要素として認識されつつある「社会手当」（児童手当、住宅手当など）の展開について論じる。
・「地域づくりと社会保障」というテーマで、福祉社会論とも関連させた研究に着手したい。
・2005 年 11 月に執筆した博士論文の内容を加筆修正した、ドイツ年金保険に関する単著を出版したい。

教育面
・3 年ゼミでは、ゼミ生が日本学生経済ゼミナール大会のインター大会（全国大会）、インナー大会（関東大会）、および、地域政策学部プレゼンテーション大会に出場する予定である。それに向けたサポートを昨年度に引き続き行っていく。また、秋に他大学と合同ゼミを行いたいと考えている。
・社会政策・社会保障の第一線で活躍する方々をお招きしたゲスト講義を数回実施する予定である。また、ゼミ生の興味関心に合わせた施設見学会も数回実施したい。